

千葉県中小企業団体事務局責任者協会機関紙

# 事務局責任者協会だより

発行 千葉県中小企業団体事務局責任者協会  
住所 千葉市中央区千葉港4-2  
千葉県中小企業団体中央会内  
TEL 043-242-3277 FAX 043-247-8410

## 創刊号



長沢会長



### 事務局からのお知らせ

平成19年3月14日、千葉県中小企業団体事務局責任者協会が発足し、早9ヶ月が過ぎました。事業推進については研修委員会、広報委員会にて企画・検討し実施しました。本年度の事業実施状況は下記のとおりです。

☆組合運営・企業経営研究会 (H19.8.22)

「経営環境の変化と組合活動の新たな展開」—企業活動支援の強化を目指して—  
有限会社バリュー・コンサルティング 代表取締役 安藤 孝

「組合事業の再構築と組合員企業の経営強化支援」

千葉県農業機械商業協同組合 事務局長 大海原 清寿

☆中央会との意見・情報交換会 (H19.9.25)

☆組合事務局・企業視察 (H19.12.5)

千葉鉄工業団地協同組合、株式会社坂戸工作所

### 今後の予定

通常総会

1. 開催日時 平成20年2月25日(月)午後2時～
  2. 開催場所 オークラ千葉ホテル
- ※ご案内は後日郵送いたします。

## 集積を生かした共同事業と組織活動

千葉鉄工業団地協同組合

事務理事 長沢 啓司

### 〔組合の概要〕

所在地 千葉市花見川区

設立 昭和38年1月

理事長 坂戸 誠一

組合員 29社(出資金9千万円)

事業 設備リース事業、安全衛生事業、共同宿舍事業、環境関連事業、教育情報事業、福利厚生事業等

製造業中心のいわゆる従来型の工場団地、昭和38年高度化活用により集団化に着手し、昭和43年に全組合員23社が進出した。その後、幾多の経済的試練にもその都度組合員の一致協力によりこれを克服し、昭和55年には高度化資金を完済、以後様々な事業に取り組むことにより組合の存在意義を保ってきた。そして、平成5年度の創立30周年事業として建築資金40億円を投じ、組合会館と共同宿舎を完成させた。

### 〔組合運営〕

組合創立45年が経過する中で、その間の世代交代や組合員の入れ替え、共同事業の変遷等から設立当初の求心力が徐々に薄れてきていることを否定するものではない。しかし、組合事務局の立場で今後に向けた考え方として、ひとつは財政基盤をより確立し、組合員からみても魅力ある組合でありたい。さらに、社会全体の課題とされ取り組む必要性の高い事例、例えば環境問題などであるが、これ等に積極的に参画し社会的責任を果たしたり、また、組合員自らがそのことをビジネスチャンスと捉え、事業性のキッカケを創出すること等を推し進めていくことが重要であると考えています。

前述についての具体的な取り組みとして、ここ数年「環境関連事業」を重点項目と位置づけ、行政のバックアップを得て実態調査を行ない、共同回収・出張細断を組合負担で実施し循環型経済社会構築に向け取り組んでいるところです。



## 千葉県コンクリート製品協同組合

事務局長 神子

勇

当組合は、土木建設に使用するコンクリート製品の製造販売の事業協同組合で理事長池田喜美夫以下、組合員は25社、職員は3名です。業界を取り巻く環境は公共事業の削減のありを受け、厳しい状況下にあります。組合事業の一端を紹介すると、2000年から取り組んだエコセメント(都市ごみ焼却灰を主原料とするセメント)を利用したコンクリート製品の商品化があります。従来の石灰石を原料とするセメントとは製造、品質、販売方法など全て異なり苦難の連続でした。地道な活動は02年セメント、04年コンクリート製品JIS化、同年グリーン購入法特定調達品、06年千葉県土木仕様書での使用明記、07年千葉県新入札制度における総合評価では地産品として評価を得ることが出来ました。ご尽力いただいた関係者にこの場を借りてお礼申し上げます。現在、組合員における同製品の製造率は約30%です。皆さんも工事現場にコンクリート製品が置いてありましたら、エコセメント製品であるか気をつけて見て下さい。エコセメント製品には∞(無限の記号)をモチーフにeをあしらったシンボルマークが押印されています。また、施工業者の方に確認しても良いでしょう。



この外、組合員は、公共性の高い製品を扱っていることから品質に対する意識が高く、現在、新JISへの移行が盛んに行われています。加えて、ISO9001品質マネジメントシステムの登録率は40%です。登録の60%は理事長をトップマネジメントとする組合名登録における関連事業所となっていることが特徴です。これは組合を会社に見立て本社を組合事務局、工場を組合員事業所として認証取得しているからです。この方法により維持費の大幅な削減は基より、システムの運用を通じて内部監査や改善事例など、事業所間の相互乗り入れによる改善が容易に行われ、有効的継続となっていることが最大のメリットとなっています。一方、事務局はコントロール機能として職員の仕事量や力量が問われますが、これらの事業が「良い会社作り」に着実に反映されており、更に組合の求心力となっていることを活発に、職員一丸となって頑張っています。

# 千葉県貿易協同組合

常務理事 檜貝 孝二郎

千葉県貿易協同組合は昭和35年2月、千葉県下で唯一の貿易関連団体の事業協同組合として設立されました。現在の理事長は横山香料株式会社代表取締役会長 横山吉雄氏で9代目になります。

設立の趣旨は組合員相互の経済的地位の向上を図ることを目的とし、輸出品製造業の企業を中心に38社で設立され、当時、外貨獲得のため、輸出を盛んにする組合でありました。

その後、昭和53年5月、成田空港開港と同時に組合の共同販売事業として組合店舗「千葉トレードセンター」を出発フロア4階に設置し、組合員企業の製品を展示販売しております。又、平成4年に第二ターミナルのオープン時に第2店舗「ちばぼうきょう」を4階シヨッピンフロアに設置し、組合員取扱製品を空港利用者に販売し、海外に広めています。

組合の事業は貿易振興事業、貿易相談員設置事業、国内外見本市参加事業、人材確保推進事業、情報化促進事業、経営強化事業、融合化集中指導事業、組織の拡充強化対策事業、福利厚生事業、共同販売事業等々の多くの事業を実施しております。特に貿易相談員設置事業では貿易の専門家を置き、組合員企業の貿易のトラブル相談から貿易書類の作成、翻訳、通訳等を行い、組合員の海外取引の安全を図っております。



組合は現在、千葉県の商業地の核である幕張メッセ隣のワールドビジネスガーデン23階に事務所をかまえて、会員90社余で、同じフロアにあるジェトロ千葉貿易情報センター、千葉県産業振興センター国際化支援グループと共に千葉県内の貿易振興、国際化推進の一躍を担っております。

# 千葉県セメント卸協同組合

専務理事 平井 正樹

昭和62年創立後20年経過したが、理事長以下理事4名は創立以来不動で大黒柱となり環境の悪化に対処してきた。主事業はセメント共同購買事業であり、千葉県に供給できる全セメントメーカー5社から一括して購買し組合員に供給、組合員が需要家に販売する形態を取っている。供給エリアは千葉県全域で組合員は県内のセメント特約販売店をほぼ網羅している。県内の袋セメントには白いクレープ帯封が貼ってあり他県製品と一目で区別できるようになっている。(添付写真参照) 又、安全・安心を保証する製造メーカーセメント試験成績表も求めに同じ提出している。工法の変化等により取扱量はピーク時の4分の1に減っているが、社会に必要な基礎資材を安定供給するという使命感のもと、組合員の結束と営業努力により適正価格にてコンスタントに県内全域に供給している。

事務局は常務男女1名ずつパート女子1名であるが、20周年記念誌(総カラー版55ページ)の原稿づくりや写真取込、印刷及び製本まで全て手作りで作成し、印刷業者見積の7分の1のコストで今年発刊した。又、年2回講演会や研修会を開催しているが、最近実施した例は(テーマ)新裁判員制度・千葉地方検察庁検事(テーマ)怖い都市災害・九州大学教授(テーマ)耐震偽装とコンクリート・住友大阪セメント技術センター(テーマ)地震と特別救助・千葉市消防局(テーマ)悪質化する暴力犯罪・千葉県警本部(テーマ)日本の防衛の現状・防衛庁自衛隊千葉地方連絡部等。公的関係機関にお願いし講演料も殆ど必要なく又好評だったので参考にして戴ければ幸いです。

**確かさが一番**  
いま 確かさが 最も求められる時代です  
私たちは下記 5ブランドのセメントメーカー直結袋にて  
安心と安全を 自信をもって お届け致します

太平洋セメント	宇部三愛セメント	住友大阪セメント
日立セメント	御トクヤマ	

千葉県内流通品は白クレープ帯封にてお届けします  
千葉県セメント卸協同組合  
千葉市中央区富士見2-22-6 富士ビル4階  
043-225-9621

# 千葉県室内装飾事業協同組合

事務局長 鳥飼 政枝

千葉県室内装飾事業協同組合(以下、千装協)は昭和49年6月4日、33名の組合員で設立されました。設立当初はある会計事務所の片隅にあった5坪ほどの貸事務所からの出発でしたが、組合員全員の協力もあり平成5年に現在の事務所を購入取得する事ができました。現在までの33年の間には幾度か困難な時期もありましたが、その都度先輩諸兄の懸命なる舵取りと事業推進によりこれを乗り越えて組合員相互の経済的地位の向上に邁進してきました。

上部団体の日本室内装飾事業協同組合連合会、千葉県中小企業団体中央会、雇用・能力開発機構千葉センター、各位の御指導と御支援により現在の組合の繁栄があると信じております。

千装協は平成7年より「環境改善フェイジビリティ事業」「労働力確保推進事業」「第1種人材確保推進事業」「第2種人材確保推進事業」「活路開拓ビジョン調査事業」「長期休暇制度基盤整備事業」等、11年にわたり種々の事業を組合員企業の協力を得ながら取り組んできました。

平成13年度に実施した「活路開拓ビジョン調査事業」はテーマを「室内装飾業者のリフォーム事業参入について」とし、千葉大学工学部建築学科の講師のアドバイスと支援を得て、高度な技術マニュアル分野にまで踏み込んだ事業を展開し、組合員企業に一つの指針を示した事業でありました。

千装協青年部は平成15年に立上げ千装協技能委員会と協力し、施工技術の質的向上を目指し新技術・新工法の講習会の実施をしており、若手人材の育成とレベルアップのため積極的に活動を推進しています。

組合員企業が抱える問題は技能労働者の高齢化と熟練技能者の不足があります。千葉県立東金高等技術専門学校ディスプレイ科への講師派遣による若手人材の育成、千葉県シルバー人材センター連合会の「住居内装講座」による高齢者の方々への実技指導の実施、それらが構成事業者にうまく反映されることを祈って取り組んでおります。



東金高等技術専門学校実習



シニアワーク内装現場実習